

NTT is...

2013
summer

夏

この絵はNTTの海外拠点がある国をイメージしています。どこの国かは14ページをご覧ください。





代表取締役社長
うの ひろお
鵜浦博夫

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに「NTTis・・・2013夏号」をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

2013年3月期は、スマートフォンの販売拡大や海外事業売上高の増加などにより3期連続の増収決算となりました。営業利益は移動通信事業が減益となったことにより4期ぶりの減益決算となったものの、昨年11月に公表した目標である1兆2,000億円を達成しました。

NTTグループは、今後の成長への道筋の確立に向け、昨年11月に中期経営戦略「新たなステージを目指して」を公表し、その取り組みを開始しましたが、1株当たり当期純利益（EPS）が+60%以上成長の目標に対して+18%増加となるなど、概ね順調なスタートとなりました。

2014年3月期は、増収・増益の計画とし、成長を目指すファーストステップの年としたいと考えております。

グループ各社の海外事業をさらに拡大させることなどにより、営業収益は10年ぶりに11兆円（対前期比+2,993億円）を、営業利益は1兆2,300億円（対前期比+280億円）を目指します。

■中期経営戦略「新たなステージを目指して」の目標と進捗

中期経営戦略の目標		2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期予想
・海外売上高の増加	2017年3月期までに 200億USドル	114億USドル	120億USドル	130億USドル
・法人売上高海外比率の上昇	2017年3月期までに 50%以上	30.6%	31.8%	36.9%
・固定/移動アクセス系のコスト削減	2015年3月期までに △4,000億円以上 (対2012年3月期比)	—	△1,250億円	△3,300億円
・設備投資対売上高比率 (Capex to Sales)の低減	2016年3月期までに 15%	18.5%	18.4%	17.0%
・1株当たり当期純利益 (EPS)の成長	2016年3月期までに +60%以上 (対2012年3月期比)	— (367円)	+18% (432円)	+37% (503円)

株主還元についても、2013年3月期に総額1,500億円の自己株式取得を実施したところですが、2014年3月期は、5,000万株または2,500億円を上限とした自己株式取得を実施する旨、決議いたしました（詳細はP.13をご参照ください）。

また、配当につきましては、今後も安定性・継続性に配慮しつつ、業績動向、財務状況および配当

性向などを総合的に勘案し、中期的に1株当たり配当金の充実に努めていく所存です。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2013年6月

経営陣のご紹介

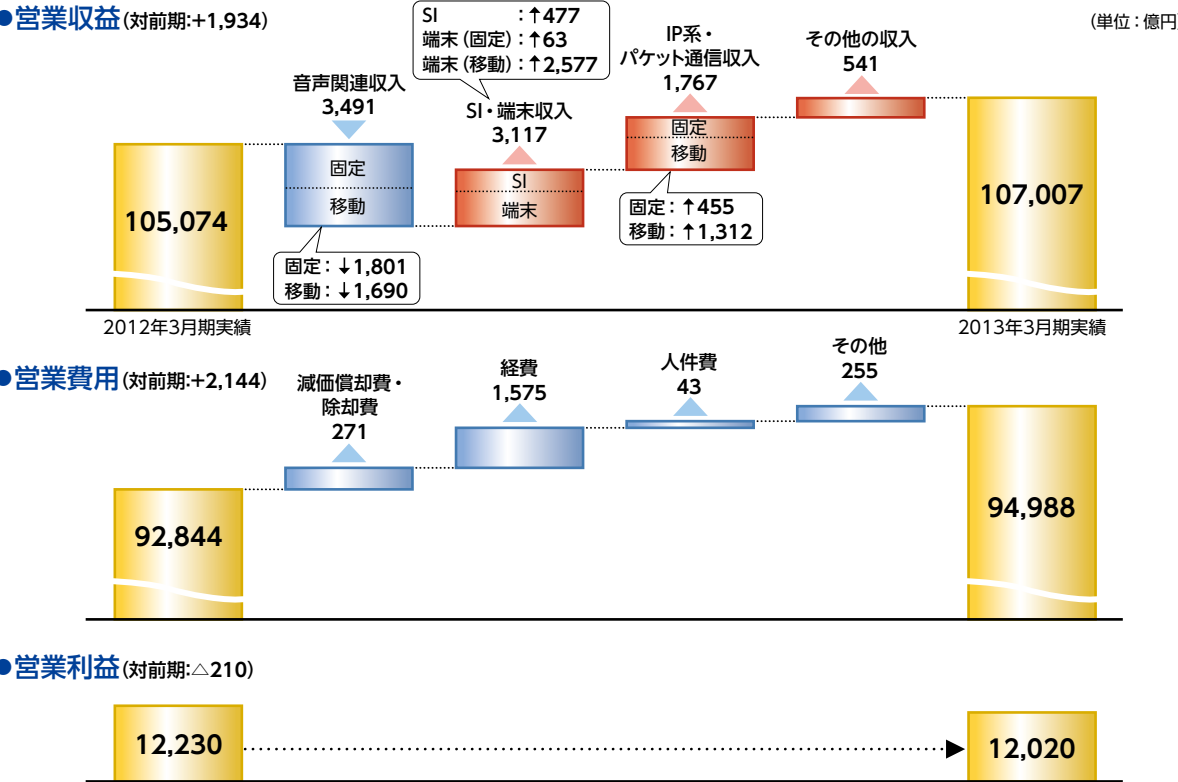
取締役会長	三浦 惺	常務取締役	篠原 弘道	常勤監査役	上坂 清
代表取締役社長	鵜浦 博夫	取締役	坂井 義清 小島 充 島田 佳明 辻上 志久 奥野 恒久 白井 克彦 榊原 定征	監査役	本林 徹 牧谷 孝子 友永 道誠 落合 誠一
代表取締役副社長	片山 泰祥 渡邊 大樹				

2013年3月期連結決算の状況

3期連続の増収

- ◎営業収益は前期と比べて1,934億円 (1.8%) 増加の10兆7,007億円
 - ・音声関連収入の減少はあるものの、スマートフォンなどの端末収入が増加
- ◎営業費用は前期と比べて2,144億円 (2.3%) 増加の9兆4,988億円
- ◎営業利益は前期と比べて210億円 (1.7%) 減少の1兆2,020億円
 - ・NTT西日本、NTTドコモが減益となった一方で、NTT東日本、NTTコミュニケーションズ、NTTデータが増益
- ◎当期純利益は前期と比べて564億円 (12.1%) 増加の5,241億円
 - ・法人税率変更の影響などもあり増益

2013年3月期連結決算の内訳 (科目別)



連結および主要な会社別損益状況

NTT連結とは、NTTグループ連結子会社827社、持分法適用会社101社の連結決算を表しております。
ここでは、主な5社として、NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズ、NTTデータ、NTTドコモを掲載しております。
(単位: 億円)

区 分	NTT連結 *1 NTT	NTT東日本 *1 NTT東日本	NTT西日本 *1 NTT西日本	NTT コミュニケーションズ *1 NTT Communications	NTTデータ *1 NTT DATA	NTTドコモ *1 docomo
営 業 収 益	107,007	18,317	16,279	9,448	13,019	44,701
(対前期増減額)	(1,934)	(△197)	(△483)	(△362)	(507)	(2,301)
(対前期増減率)	(1.8%)	(△1.1%)	(△2.9%)	(△3.7%)	(4.1%)	(5.4%)
(業 績 予 想)	(108,100)	(18,330)	(16,320)	(9,550)	(12,800)	(45,200)
(達 成 率)	(99.0%)	(99.9%)	(99.8%)	(98.9%)	(101.7%)	(98.9%)
営 業 費 用	94,988	17,667	16,087	8,266	12,162	36,329
(対前期増減額)	(2,144)	(△344)	(△305)	(△485)	(454)	(2,674)
(対前期増減率)	(2.3%)	(△1.9%)	(△1.9%)	(△5.6%)	(3.9%)	(7.9%)
(業 績 予 想)	(96,100)	(17,680)	(16,140)	(8,550)	(11,950)	(37,000)
(達 成 率)	(98.8%)	(99.9%)	(99.7%)	(96.7%)	(101.8%)	(98.2%)
営 業 利 益	12,020	650	192	1,181	856	8,372
(対前期増減額)	(△210)	(147)	(△178)	(123)	(52)	(△373)
(対前期増減率)	(△1.7%)	(29.3%)	(△48.2%)	(11.7%)	(6.6%)	(△4.3%)
(業 績 予 想)	(12,000)	(650)	(180)	(1,000)	(850)	(8,200)
(達 成 率)	(100.2%)	(100.1%)	(106.7%)	(118.1%)	(100.8%)	(102.1%)
税引前利益	12,011	*2 888	*2 283	*2 1,297	*2 818	8,417
(対前期増減額)	(△382)	(136)	(△139)	(107)	(62)	(△353)
(対前期増減率)	(△3.1%)	(18.2%)	(△33.0%)	(9.0%)	(8.3%)	(△4.0%)
(業 績 予 想)	(11,700)	(880)	(260)	(1,100)	(780)	(8,140)
(達 成 率)	(102.7%)	(101.0%)	(109.2%)	(117.9%)	(105.0%)	(103.4%)
当期純利益	*3 5,241	528	209	653	435	*4 4,956
(対前期増減額)	(564)	(206)	(4)	(70)	(130)	(317)
(対前期増減率)	(12.1%)	(64.3%)	(2.2%)	(12.0%)	(42.9%)	(6.8%)
(業 績 予 想)	(5,300)	(500)	(230)	(670)	(380)	(5,070)
(達 成 率)	(98.9%)	(105.6%)	(91.0%)	(97.5%)	(114.5%)	(97.8%)

*1 当社およびNTTドコモは米国基準 (連結)、NTT東日本、NTT西日本およびNTTコミュニケーションズは国内基準 (単独)、NTTデータは国内基準 (連結) に準拠して作成しております。

*2 NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズおよびNTTデータの税引前利益欄には、経常利益を記載しております。

*3 NTT連結の当期純利益は、当社に帰属する当期純利益 (非支配持分帰属分控除後) を記載しております。

*4 NTTドコモの当期純利益は、NTTドコモに帰属する当期純利益 (非支配持分帰属分控除後) を記載しております。

2014年3月期業績予想

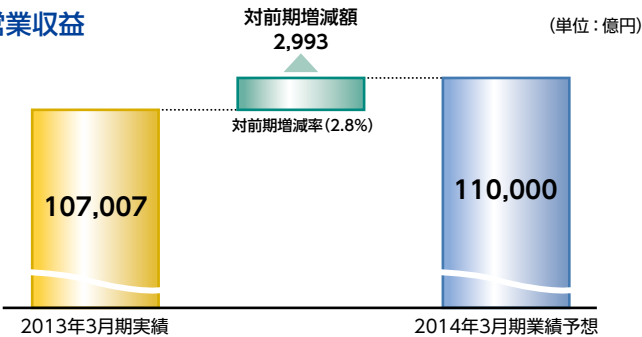
増収・増益を見込む。営業収益は10年ぶりに11兆円を目指す。

◎営業収益は前期と比べて2,993億円 (2.8%) 増加の11兆円

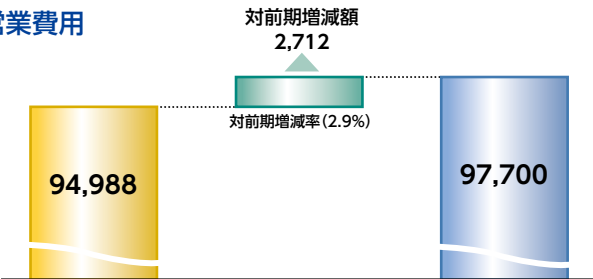
◎営業利益は前期と比べて280億円 (2.3%) 増加の1兆2,300億円

2014年3月期業績予想

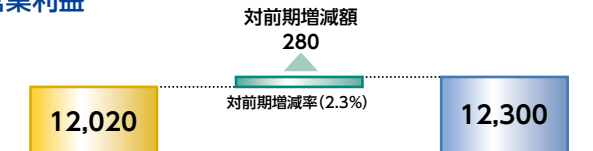
●営業収益



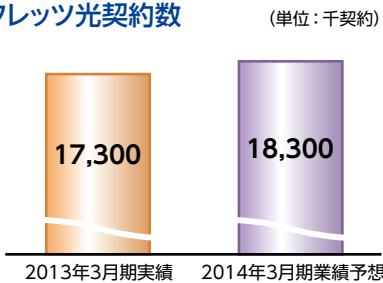
●営業費用



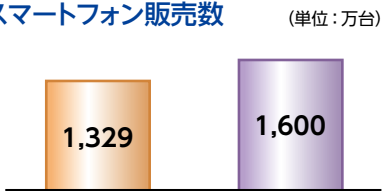
●営業利益



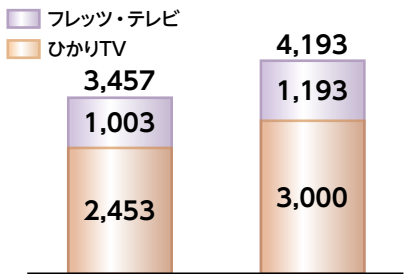
●フレッツ光契約数



●スマートフォン販売数



●映像サービス契約数



連結および主要な会社別業績予想

(単位: 億円)

区 分	NTT連結 *1 NTT	NTT東日本 *1 NTT東日本	NTT西日本 *1 NTT西日本	NTT コミュニケーションズ *1 NTT Communications	NTTデータ *1 NTT DATA	NTTドコモ *1 docomo
営業収益	110,000	17,830	15,920	9,250	13,300	46,400
(対前期増減額)	(2,993)	(△487)	(△359)	(△198)	(280)	(1,699)
(対前期増減率)	(2.8%)	(△2.7%)	(△2.2%)	(△2.1%)	(2.2%)	(3.8%)
営業費用	97,700	17,180	15,720	8,130	12,400	38,000
(対前期増減額)	(2,712)	(△487)	(△367)	(△136)	(237)	(1,671)
(対前期増減率)	(2.9%)	(△2.8%)	(△2.3%)	(△1.7%)	(2.0%)	(4.6%)
営業利益	12,300	650	200	1,120	900	8,400
(対前期増減額)	(280)	(0)	(7)	(△61)	(43)	(28)
(対前期増減率)	(2.3%)	(0.0%)	(4.1%)	(△5.2%)	(5.0%)	(0.3%)
税引前利益	12,800	*2 800	*2 280	*2 1,220	*2 820	8,500
(対前期増減額)	(789)	(△88)	(△3)	(△77)	(1)	(83)
(対前期増減率)	(6.6%)	(△9.9%)	(△1.3%)	(△6.0%)	(0.2%)	(1.0%)
当期純利益	*3 5,850	500	230	750	450	*4 5,100
(対前期増減額)	(609)	(△28)	(20)	(96)	(14)	(144)
(対前期増減率)	(11.6%)	(△5.3%)	(9.8%)	(14.8%)	(3.4%)	(2.9%)

*1 当社およびNTTドコモは米国基準 (連結)、NTT東日本、NTT西日本およびNTTコミュニケーションズは国内基準 (単独)、NTTデータは国内基準 (連結) に準拠して作成しております。

*2 NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズおよびNTTデータの税引前利益欄には、経常利益を記載しております。

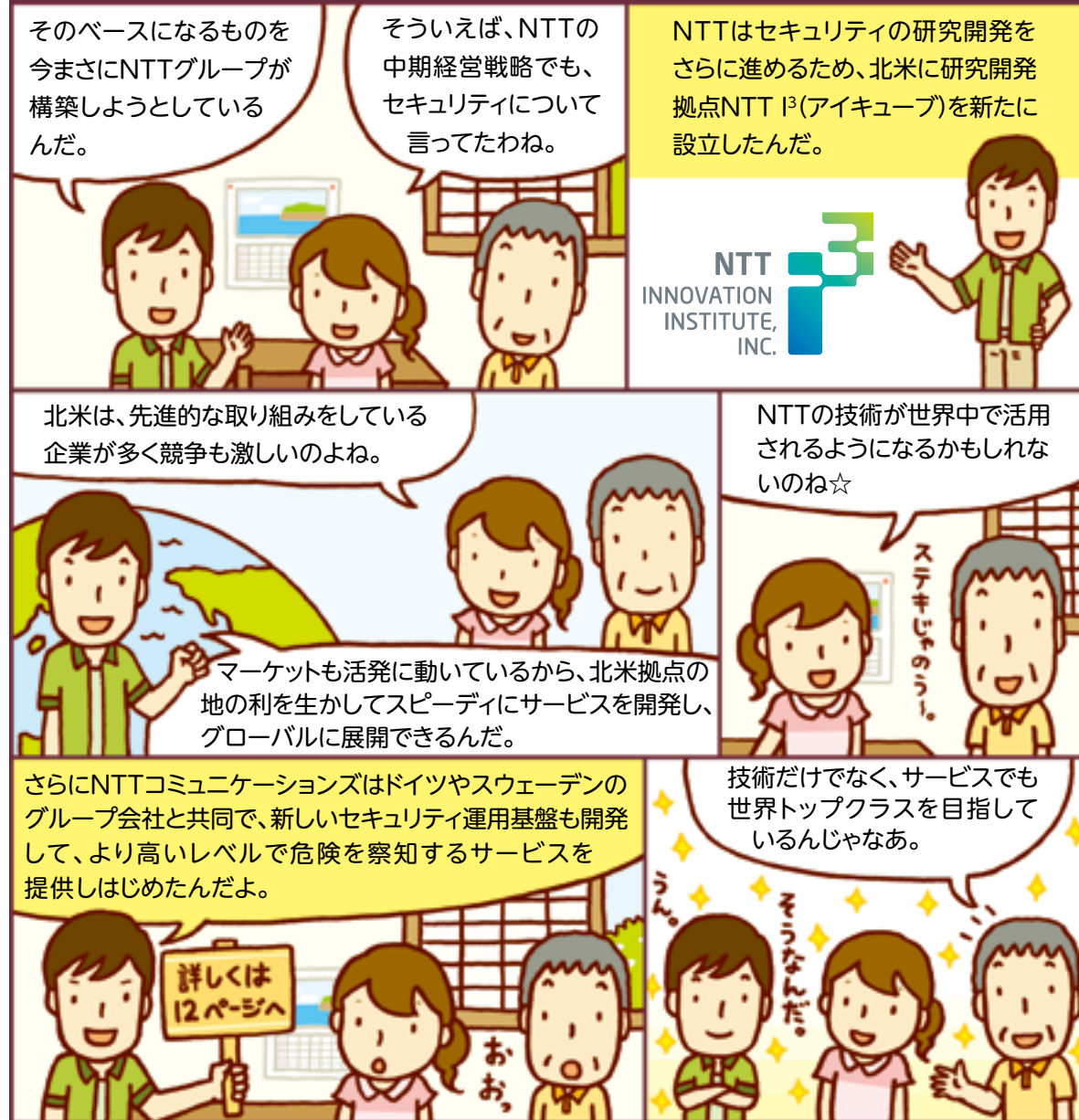
*3 NTT連結の当期純利益は、当社に帰属する当期純利益 (非支配持分帰属分控除後) を記載しております。

*4 NTTドコモの当期純利益は、NTTドコモに帰属する当期純利益 (非支配持分帰属分控除後) を記載しております。

本誌に記載されている予想数値および将来の見通しは、不確定性・不確実性を含んでおり、実際の業績などにつきましては、今後の経済や情報通信業界内外の動向、新たな技術・サービスや料金水準などにより変動することがあります。従って、当社として、その確実性を保証するものではありません。

NTTグループは、2012年11月に策定した中期経営戦略に基づき、「グローバル・クラウドサービス」を事業の基軸としていく方針です。この分野ではセキュリティに関する技術が決め手となります。







素肌に優しい快適素材で 心拍・心電図を常時モニタリング



心臓発作などの突然死リスクを軽減するため、心拍や心電図を常時モニタリングする技術への関心が高まっています。NTTは、シルクや合成繊維などの表面に、導電性高分子である「PEDOT-PSS」をコーティングし、心拍・心電図を常時モニタリングする素材の作製に成功しました。従来の医療用電極では、電解質ペーストを使用し、素肌に粘着させて計測していましたが、本素材を用いたウェアラブル電極は、柔軟性、親水性、強度に優れ、炎症や不快感などが生じにくく素肌になじみやすい性質を持っています。これにより、着衣するだけで心拍・心電図を計測でき、装着者に負担なく、24時間以上モニタリングすることが可能です。将来は、医療分野やスポーツなどの様々なシーンでの活用が期待されます。

ウェアラブル電極で心拍・心電図を24時間以上モニタリング

●PEDOT-PSS (シルク複合素材)

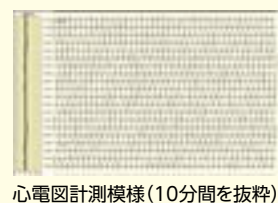


シルクなどの表面を
PEDOT-PSSで
均一にコーティング
柔軟性・導電性・生体
適合性に優れ、強度・
耐水性・加工性を発揮

●ウェアラブル電極



PEDOT-PSSを
コーティングした布を
電極としてシャツに貼り付け
着るだけで計測可能「シャツ型心電図
計測電極(ホルター心電図)」



心電図計測模様(10分間を抜粋)

●将来の応用イメージ



あらゆるリスクに対応する 新しいセキュリティ運用基盤をグローバルに展開

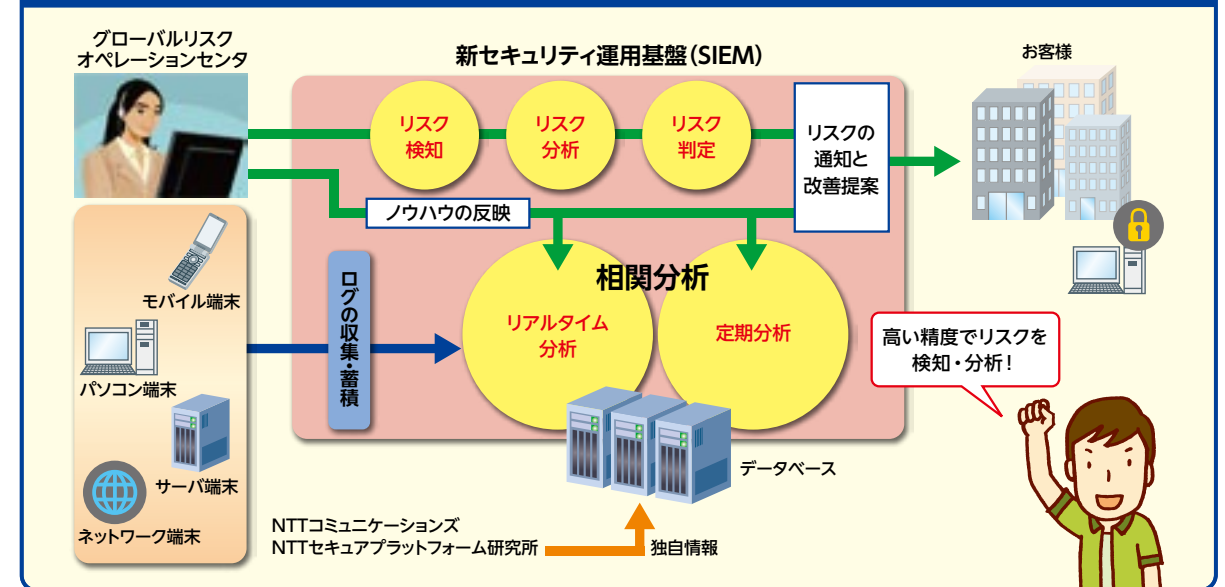


不正アクセスやウイルス感染、情報漏えいなどのセキュリティリスクの高まりが社会問題化しているなか、NTTコミュニケーションズは、特定のターゲットに対して攻撃する「標的型攻撃」などのセキュリティリスクを高い精度で検知・分析する「セキュリティ情報・イベント管理エンジン (SIEMエンジン)」を開発し、新たな運用基盤として2013年3月から運用を開始しました。

SIEMエンジンは、モバイル端末やパソコン、サーバ、ネットワーク機器の膨大なログや通信履歴などを収集し、自動で相関分析を行い、リスクや脅威レベルを評価します。従来、専門エンジニアの知見と経験に頼っていたものを自動化することで、精度の向上とコスト削減を実現します。

このセキュリティ運用基盤は、NTTコミュニケーションズと海外子会社のIntegralis社、Secode社のグループ統一のセキュリティ・サービス・プラットフォームとして運用し、日本、米国、欧州、アジアに展開します。さらに「総合リスクマネジメントサービス」という統一したリスク分析・評価手法を採用し、お客様のICT (情報通信技術) 環境のあらゆるリスクに対応。改善計画の立案や継続的なモニタリングなどを包括的にサポートします。

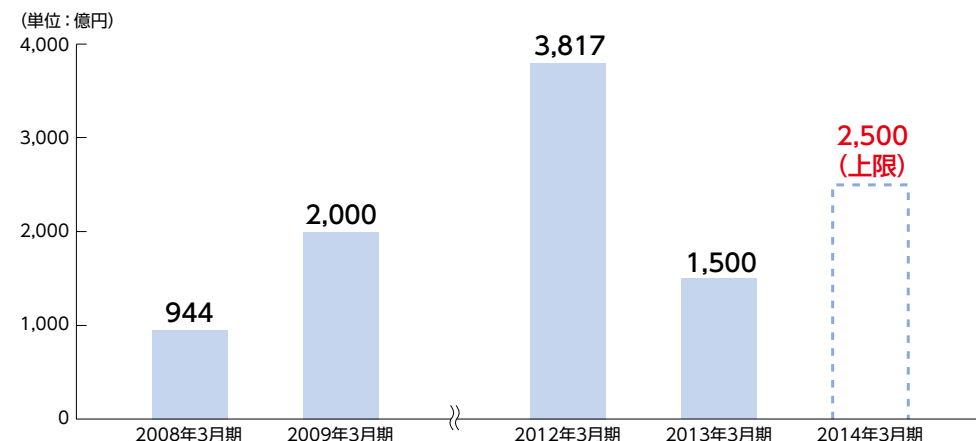
SIEMのコンセプトと機能概要



2,500億円を上限とした自己株式取得を決定

NTTは2012年11月、今後の取り組みや中期的な財務目標を示した「新たなステージを目指して」を発表しました。ここでは、1株当たり当期純利益 (EPS) を2016年3月期までに+60%以上成長させるという目標を掲げています。この目標に資する施策として、2014年3月末までに5,000万株または2,500億円を上限とした自己株式取得を決定いたしました。

自己株式取得額



自己株式取得とは?

会社が、自社の株式を市場などから買い戻すことです。自己株式取得により、1株当たり当期純利益 (EPS) が改善されることや、市場に流通する自社の株式数が減少し需給のバランスが調整されることなどが効果としてあげられます。

「株主・投資家の皆様向けホームページ」のご案内

NTTでは、株主・投資家の皆様に向けてIRホームページを開設しています。

自己株式取得および配当金などの株主還元については、「株式・債券情報」のページでもご案内しております。

「株式・債券情報」のページはこちら
<http://www.ntt.co.jp/ir/shares/>

🔍 NTT IR 株式・債券 🔍

NTTグループの主なニュースをご紹介します。

1 January

- ➡ ビジネス複合機やビジネスフォンと連動できるオンラインストレージサービスを提供開始 (NTT西日本/NTTスマートコネク)

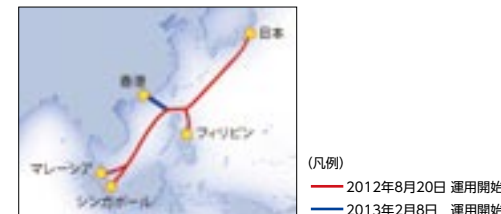


- ➡ マガシー株式会社の株式公開買付けを実施～3月に完了し子会社化～(NTTドコモ)



2 February

- ➡ アジア主要都市を高信頼・低遅延でつなぐ光海底ケーブル「Asia Submarine-cable Express」の香港ルート運用開始 (NTTコミュニケーションズ)



- ➡ 宮城南三陸町町有林の森林保全活動の取り組みを開始～「未来の種プロジェクト-南三陸町森・里・海ものがたり-」～(NTTドコモ)



3 March

- ➡ 中堅中小企業・SOHO市場におけるICT利活用の促進に向けた協業について～日本マイクロソフト、NTT東日本、デルの製品・サービスをワンストップで提供開始～(NTT東日本)



- ➡ オンライン英会話サービス「バーチャル英会話教室」One to Oneレッスンのサービスを提供開始 (NTTラーニングシステムズ)



表紙の絵の国は「オーストラリア連邦」です。



株式インフォメーション

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定について

【証券会社の口座に当社株式が記録されている株主様】

お取引先の証券会社へお問い合わせください。

【特別口座に当社株式が記録されている株主様】

当社特別口座管理機関の三井住友信託銀行へお問い合わせください。

◎住所・氏名の表記について

住所および氏名などの文字のうち、証券保管振替機構が指定していない漢字などが含まれている場合には、その全部または一部を証券保管振替機構が指定した文字に置き換えさせていただくことができますのでご了承ください。

◎未払配当金の支払について

まだ受け取られていない配当金がある場合は、お早めに三井住友信託銀行にお問い合わせください。

株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせは

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

NTT株主様専用電話： **0120-584-400**

代表電話： **0120-782-031**

株主・投資家の皆様向けホームページ

<http://www.ntt.co.jp/ir/>

【NTT東日本・NTT西日本】

「電話サービス」に関する
お申し込み・お問い合わせは

 **116** (局番なし)

午前9時～午後5時 年中無休(ただし年末年始を除く)

「ブロードバンドサービス」に関する
お申し込み・お問い合わせは

 **0120-116-116**

NTT東日本：午前9時～午後7時 年中無休(ただし年末年始を除く)

NTT西日本：午前9時～午後9時 年中無休(ただし年末年始を除く)

【NTTコミュニケーションズ】

電話・インターネットのサービスに関する
お申し込み・お問い合わせは

 **0120-506-506**

午前10時～午後7時 年中無休(ただし年末年始を除く)

【NTTドコモ】

総合お問い合わせ先／各種ご注文受付
(ドコモ インフォメーションセンタ)

ドコモの携帯電話からの場合

 **151** (局番なし)

(一般電話などからはご利用になれません。)

一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

(午前9時～午後8時 年中無休)



この冊子は環境にやさしい植物油インキとFSC®森林認証紙を使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。